

177 過越しの食事(5)

ルカによる福音書 22 : 24~30

ヨハネによる福音書 13 : 31~35

ルカによる福音書 22 : 31~38、マタイ 26 : 31~35、マルコ 14 : 27~31、ヨハネ 13 : 36~38

▶いちばん偉い者 (ルカによる福音書 22 : 24~30)

第3の杯によって、正に新しい契約が結ばれた直後

・・・・・・数時間後に、イエスが十字架につけられようとしている矢先のことである・・・・・・

24 また (再び)、使徒たちの間に、自分たちのうちでだれがいちばん偉いだろうか、という議論も起こった。

→過去にも一度同じことがあった (マルコ 9 : 34、ルカ 9 : 46) →ファイル No.099 誰が一番偉いか (いちばん偉い者)

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 2 / 聖句等の総数 33250]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)
S マルコによる福音書	9:34 彼らは黙っていた。途中でだれがいちばん偉いかと議論し合っていたからである。	
S ルカによる福音書	9:46 弟子たちの間で、自分たちのうちだれがいちばん偉いかという議論が起きた。	

25 そこで、イエスは言われた。

「異邦人の間では、王が民を支配し、民の上に権力を振るう者が守護者と呼ばれている。

→ (リビング・バイブル) イエスは、それを見て言われました。「この世では、王や高官たちが支配者として権力をほしいままにしています。

→守護者：本来は、「恩人」、しかしここでは「統治者」という意味に使われ、表向きは偉大だが、人格が優れているわけではない。多くの場合、王たちは残酷な者たちであった。

26 **しかし、あなたがたはそれではいけない。あなたがたの中でいちばん偉い人は、いちばん若い者のようになり、上に立つ人は、仕える者のようになりなさい。**

→偉くなりたいなら、いちばん年の若い者のようになれ。

→実るほど頭を垂れる稲穂かな。



27 (この世では) **食事の席に着く人と給仕する者とは、どちらが偉いか。食事の席に着く人ではないか。しかし、わたしはあなたがたの中で、いわば給仕する者である。**

【参考】Mastery for Service (関西学院[スクールモットー](#))

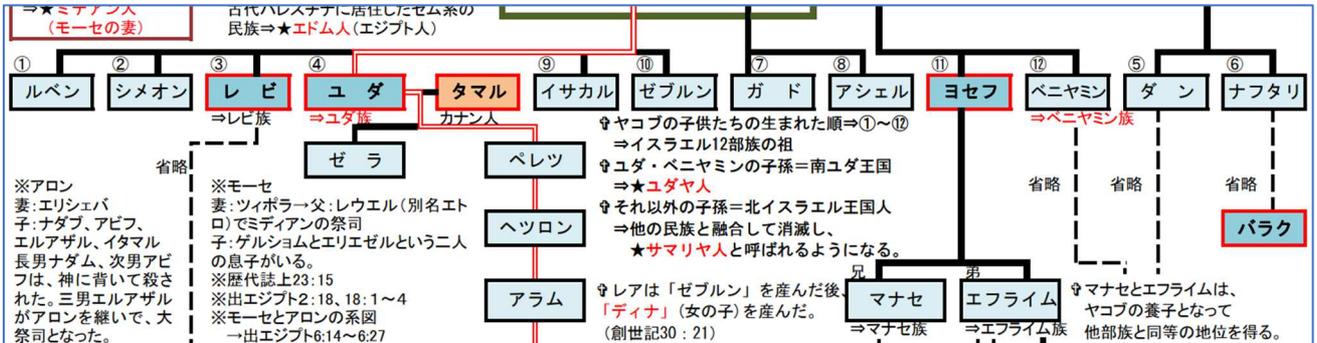
マスターとは普通「主人」を意味しますが、関西学院では人間性、学び、生活においても完成された人格、第4代院長ベーツの言葉でいう「Self-Master=自主」(→他の保護や干渉を受けず、独立して行うこと)である人を意味します。サービスは、それをもとに関西学院のキリスト教主義的な理解では「神への奉仕」を原点として隣人、社会、他者に仕えて生きる人間のあり方を示すものです。

自らに与えられた人間的な豊かさ、それを自らは何ものにもとらわれないで、よりよき社会を創造するためにささげ用いてゆく生き方、それが「輝く自由、Mastery for Service」と関学人が歌い上げる私たちが求め続ける姿なのです。

28 **あなたがたは、わたしが種々の試練に遭ったとき、絶えずわたしと一緒に踏みとどまってくれた。**

29 だから、わたしの父がわたしに（メシア的王国における）**支配権**（→王権）をゆだねてくださったように、わたしもあなたがたにそれ（→王権）をゆだねる。

30 あなたがたは、わたしの（神の）国でわたしの食事の席に着いて飲み食いを共にし、王座に座ってイスラエルの十二部族（→①②、④～⑩、マナセ、エフライム、⑫）を治めることになる。」



▶新しい掟（ヨハネによる福音書 13：31～35）

31 さて、ユダが出て行くと、イエスは言われた。

「**今や、人の子は栄光を受けた。神も人の子によって栄光をお受けになった。**

→（リビング・バイブル）ユダが姿を消すとすぐ、イエスが言われました。

「時が来ました。神の栄光がわたしの回りに輝き渡るのも、時間の問題です。同時にまた、わたしの身に起こるすべてのことのゆえに、神も大いにほめたたえられるでしょう。」

32 **神が人の子によって栄光をお受けになったのであれば、神も御自身によって人の子に栄光（＝復活）をお与えになる。しかも、すぐにお与えになる。**

→（リビング・バイブル）神はわたしに、ご自分の栄光を与えてくださるのです。それも、すぐにです。

33 **子たちよ**（→テクニア：小さな子供たちよ→弟子たちよ）、いましばらく、わたしはあなたがたと共にいる。あなたがたはわたしを捜すだろう。『わたしが行く所にあなたたちは来ることができない』とユダヤ人たちに言ったように、今、あなたがたにも同じことを言うておく。

34（残された）あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。35 互いに愛し合うならば、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、皆が知るようになる。」

▶ペトロの離反を予告する（ルカによる福音書 22：31～34）

31 「**シモン、シモン、（いいですか。）サタンはあなたがた（全員）を、小麦のようにふるい（→篩）にかけることを神に願って聞き入れられた。**

→（リビング・バイブル）シモン、シモン。いいですか。サタンがあなたがたを麦のように、ふるいにかけることを願い出（て、聞き入れられ）ました。

→小麦のようにふるいにかける：農夫は脱穀のために農業用フォークを使い、穀粒と殻とをすくい上げて空中に放り投げる。殻は軽いので風に飛ばされ、穀粒は地面に落ちる。

→サタン Satan：ヘブライ語、神に敵対する者、神の前に聖徒たちを訴える者、妨げる者、誹謗する者、訴える者



32 **しかし、わたしはあなた（→ペトロ）のために、（あなたの）信仰が無くならないように祈った。だから、あなたは（悔い改めて）立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。」**

→（リビング・バイブル）しかし、安心しなさい。あなたの信仰がなくならないように、祈ってあげました。だから、悔い改めて立ち直った時には、仲間の者たちもしっかり立てるように、力づけてやりなさい。」

33 すると（自信過剰の）シモンは、「**主よ、御一緒になら、牢に入っても死んでもよいと覚悟しております**」と言った。

34 イエスは言われた。

「**ペトロ、言うておくれが、あなたは今日、鶏が鳴くまでに、三度わたしを知らないと言うだろう。**」

→マルコによる福音書 14 : 30

イエスは言われた。「はっきり言うておくれが、あなたは、今日、今夜、鶏が二度（一番鳥：午前0時、二番鳥：午前3時）鳴く前に、三度わたしのことを知らない（→ギリシア語の動詞は「完全に拒否する」を意味する）と言うだろう。」

▶**財布と袋と剣**（ルカによる福音書 22 : 35～38）

35 それから、イエスは使徒たちに言われた。

「**財布も袋も履物も持たせぬにあなたがたを遣わしたとき、何か不足したものがあつたか。**」

→ルカによる福音書 10 : 4 財布も袋も履物も持って行くな。途中でだれにも挨拶をするな。

彼らが、「**いいえ、何もありませんでした**」と言うと、

・・・・・・・・イエスの十字架によって、弟子たちの置かれる状況が一変する・・・・・・・・

36（十字架にかかることを見越し、そしてこれから状況が変わることを見越して）イエスは言われた。

「（わたしがあなたがたと共にいたころは何も持つ必要はなかつた。）**しかし今は（違う）、財布のある者は、それを持って行きなさい。袋も同じようにしなさい。剣のない者は、服を売って（自衛のためにも）それを買いなさい。**」

37 **言うておくれが、『その人は犯罪人の一人に数えられた』と書かれていることは、わたしの身に必ず実現する。わたしにかかわることは実現するからである。」**

→（リビング・バイブル）『彼は罪人の一人に数えられた』（イザヤ 53・12）という預言どおりのことが、わたしに起こるのです。わたしについて言われたことは、必ずそのとおりになるのです。」

→イザヤ書 53 : 12

それゆえ、わたしは多くの人を彼の取り分とし／彼は戦利品としておびたしい人を受ける。彼が自らをなげうち、死んで／罪人のひとりに数えられたからだ。多くの人を過ちを担い／背いた者のために執り成しをしたのは／この人であった。

・・・・・・・・イエスの話している内容を理解できない弟子たち・・・・・・・・

38 そこで彼らが、「**主よ、剣なら、このとおりここに二振りあります**」と言うと、

イエスは、「**それでよい**」と言われた。

→それでよい：「この話題はここで終わりだ、もういいよ」という、今の状況が何も理解できていない弟子たちに対する、イエスのあきらめの気持ちの言葉。（NIV）That's enough!、（NKJV）It is enough.

▶マタイによる福音書 26 : 30

一同は（第4の祝杯をあげ）賛美の歌をうたってから、オリーブ山へ出かけた。

・・・・・・これで過越しの食事はすべて終わった・・・・・・

→過越しの食事には5つの杯がある。

①聖別の杯、②感謝（救い）の杯 →①、②は食事の前に飲む。

③祝福と贖いの杯、④完了の杯／⑤エリヤの杯：この杯はエリヤのためのもので、飲まない。

→最後に詩を歌うことを「ハレル」（賛美、賞賛、ほめたたえよ）という。

→詩編 117、118



【参考】詩編 117、118

▶詩編 117 : 1~2

すべての国よ、主を賛美せよ。すべての民よ、主をほめたたえよ。
主の慈しみとまことはとこしえに／わたしたちを超えて力強い。ハレルヤ。

▶詩編 118 : 1~29

恵み深い主に感謝せよ。慈しみはとこしえに。
イスラエルは言え。慈しみはとこしえに。
アロンの家は言え。慈しみはとこしえに。
主を畏れる人は言え。慈しみはとこしえに。

苦難のはざまから主を呼び求めると／主は答えてわたしを解き放たれた。
主はわたしの味方、わたしは誰を恐れよう。人間がわたしに何をなしえよう。
主はわたしの味方、助けとなって／わたしを憎む者らを支配させてくださる。
人間に頼らず、主を避けどころとしよう。
君侯に頼らず、主を避けどころとしよう。

国々はこぞってわたしを包囲するが／主の御名によってわたしは必ず彼らを滅ぼす。
彼らは幾重にも包囲するが／主の御名によってわたしは必ず彼らを滅ぼす。
蜂のようにわたしを包囲するが／茨が燃えるように彼らは燃え尽きる。主の御名によってわたしは必ず彼らを滅ぼす。

激しく攻められて倒れそうになったわたしを／主は助けてくださった。
主はわたしの砦、わたしの歌。主はわたしの救いとなってくださった。
御救いを喜び歌う声が主に従う人の天幕に響く。主の右の手は御力を示す。
主の右の手は高く上がり／主の右の手は御力を示す。

死ぬことなく、生き長らえて／主の御業を語り伝えよう。
主はわたしを厳しく懲らしめられたが／死に渡すことはなさらなかった。

正義の城門を開け／わたしは入って主に感謝しよう。
これは主の城門／主に従う人々はここに入る。
わたしはあなたに感謝をささげる／あなたは答え、救いを与えてくださった。

家を建てる者の退けた石が／隅の親石となった。
これは主の御業／わたしたちの目には驚くべきこと。
今日こそ主の御業の日。今日を喜び祝い、喜び躍ろう。
どうか主よ、わたしたちに救いを。どうか主よ、わたしたちに栄えを。
祝福あれ、主の御名によって来る人に。わたしたちは主の家からあなたたちを祝福する。
主こそ神、わたしたちに光をお与えになる方。祭壇の角のところまで／祭りのいけにえを綱でひいて行け。
あなたはわたしの神、あなたに感謝をささげる。わたしの神よ、あなたをあがめる。

恵み深い主に感謝せよ。慈しみはとこしえに。

【参考】二階の広間、上の部屋

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 3 / 聖句等の総数 33250 <二階の広間>2個<上の部屋>1個] (新共同訳) [検索語彙: 二階の広間・上の部屋] 聖書Navi Active 393128091
S マルコによる福音書	14:15 すると、席が整って用意のできた二階の広間を見せてくれるから、そこにわたしたちのために準備をしておきなさい。」 NIV: a large room upstairs/NKJV: a large upper
S ルカによる福音書	22:12 すると、席の整った二階の広間を見せてくれるから、そこに準備をしておきなさい。」 a large room upstairs/a large, furnished upper room
S 使徒言行録	1:13 彼らは都に入ると、泊まっていた家の上の部屋に上がった。それは、ペトロ、ヨハネ、ヤコブ、アンデレ、フィリポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダであった。 upstairs to the room/ the upper room

「上の部屋」または「二階の広間」は、キリスト教の伝承では、イエス・キリストが12人の弟子たちと「過越し祭」の夕食である「最後の晩餐」と「聖霊降臨」(使徒言行録2:1~42)の場所との伝承がある場所で、エルサレム旧市街南西のシオンの山にある。



出典(左図): イスラエル・ヨルダンの旅 クラブツーリズム



(右図): 毎日新聞(一部加工)

【参考】第二神殿の門(奉献式)

